

高尾野町の兵六踊

【所在地】出水郡高尾野町（兵六踊保存会）

【種別】県指定無形民俗文化財

【指定年月日】昭和 37 年 10 月 24 日



現在，高尾野町紫尾神社の 9 月 23 日の祭例に奉納されている芸能である。

これは大石兵六という武士が鹿児島城下の吉野原で苦勞のすえ野狐を退治したという，江戸時代から伝わる話（「大石兵六夢物語」）を劇風の踊りに仕立てたもので，薩摩武士の蛮勇を風刺したものともいわれ，豪快ななかにもユーモラスな雰囲気漂っている。

登場人物は，主人公の大石兵六をはじめ，兵児数十人，それに狐の化けた怪物，老父，娘，庄屋，捕り手，和尚，小僧である。

踊りは，第 1 場「新上橋上の評定」，第 2 場「吉野原の段」，第 3 場「兵六凱旋の段」の 3 場からなる。せりふの中に鹿児島弁がまじり，いかにも郷土芸能らしい。

兵六踊は長島町城川内など県下にいくつかあるが，その代表的なものでよく整っている。